観覧料
無料

©Nakano Michihito

2022.11.9(水)▶11.20(日)

10:00~19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

会場：大分県立美術館1階 展示室A

【同時期開催】第27回 ときめき作品展　会場：大分県立美術館1階 アトリウム

Junction art

ジャンクション アート

©Higuchi Yunosuke

©Iihoshi Mayu

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.4

主催：おおいた障がい者芸術文化支援センター
［(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団］

協力：障害福祉サービス事業所PICFA(医療法人清明会)

後援：大分県教育委員会、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、
大分県障害者社会参加推進協議会、
大分県民芸術文化祭実行委員会、NPO法人大分県芸振、
大分合同新聞社、NHK大分放送局、
OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、
エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム

アジアに響け 芸術の鼓動 第24回大分県民芸術文化祭参加行事

この展覧会は、大分県から(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団が委託を受け、企画・運営しています。

ユニボイスコード
スマホアプリを利用して情報を音声で聞くことができます。

文化芸術の花 咲いわたり
美ら島おきなわ文化祭2022
第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭
令和4年10月22日(土)~11月27日(日)

PICFA

佐賀

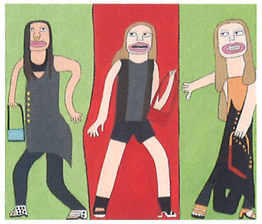
医療法人清明会
障がい福祉サービス事業所「PICFA（ピクファ）」

利用者の創作活動が「アート」だけでなく「人生」にも広がるように。

PICTURE（絵画）＋WELFARE（福祉）＝PICFA

長崎「ひぐちグループ」仮囲いペインティング

佐賀「酒造　基山商店」コラボ日本酒



©Yasunaga Noriyuki

©Shinozaki Sakurako

ローソン「マチカフェ」コラボカップ

PICFA

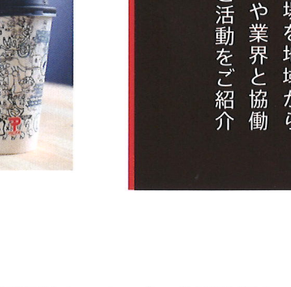
What's PICFA?

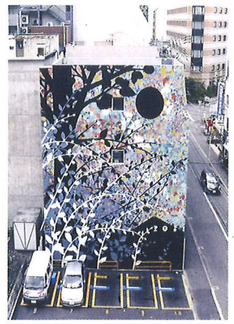
2017年7月に医療法人清明会　きやま鹿毛医院内に障害福祉サービス事業所としてオープン。施設形態は、就労継続支援B型で施設内にて絵を描くことやデザイン、アート作品の創作活動を「お仕事」として位置付け活動中。現在、メンバー（利用者）は20名で活動し、創作活動が「アート」だけではなく「人生」にも広がるよう活動の幅を広げている。

企業とのタイアップなどを積極的に行い、キャナルシティーOPAのリニューアルオープンに向けての巨大絵画制作・納品や東京のアパレルブランドや化粧品会社とのコラボ、行政機関などへ挿絵提供など、アートやデザイン、生活雑貨の商品開発、原画販売など、グローカルに活動中。

Artist

飯干真由、笠原鉄平、加田有紀、包行想、北村彰吾、木村信隆、篠﨑桜子、杉野はるか、鈴木靖葉、園田瑞樹、トン嘉鈴カレン、中川原あすか、西依孝、東佐智子、東島ゆきの、樋口裕乃介、藤瀬翔子、本田雅啓、安永憲征、楠原正隆





博多「もつ鍋 一藤」
10周年記念壁画制作

Junction art

ジャンクションアート

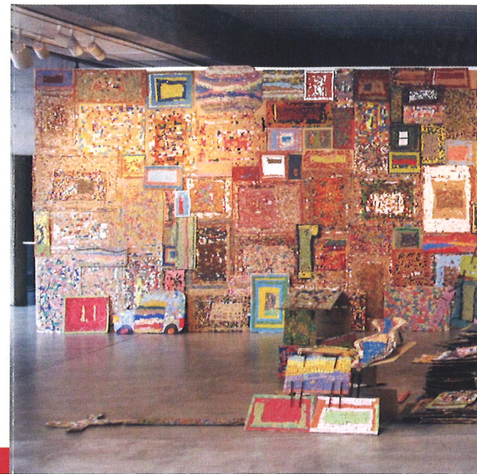
おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展は、県内外において魅力的な芸術文化活動に取り組む個人や施設をピックアップして紹介する展覧会です。

4回目となる今回は、タイトルを「junction art」としました。「交流」や「交差」を意味する「junction」と、芸術＝artを組み合わせた造語です。

私たちの日常はさまざまな「junction」に溢れています。人との出会いや、自分をとりまく環境との関わり、世の中の出来事との接点など…。

そして、そんな新しい交流は、次への一歩となる新しいエネルギーを生み出します。本展覧会をひとつの「junction（出会いの場）」として、障がいの有無をこえてさまざまな人や表現が交流していく。そんな願いを込めています。

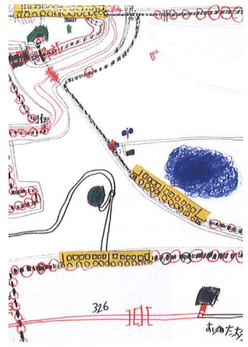
今回の展示の目玉として、佐賀県基山町の福祉サービス事業所「PICFA」に出展していただきました。活躍の場を地域から全国まで広げ、さまざまな人や業界と協働を続けるPICFAの作品と活動をご紹介します。



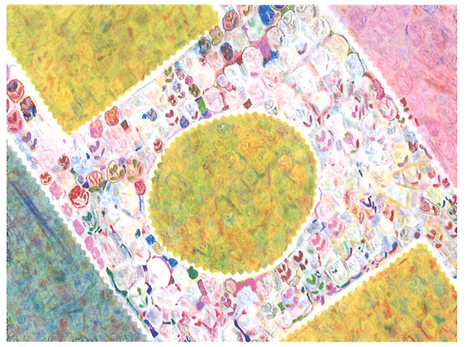
©Sato Shogo

大分

大分県内在住の障がいのある人のアート作品を、4つの章に分けて紹介します。



©Shin Ryotaro



©Goto Harue

Artist

赤嶺勝郎
浅野凪砂
あとりえ湯輪夢
阿部和隆
安部侑朔
岩崎丈展
岡本英明
甲斐瞳
後藤春枝
佐藤省吾
佐藤龍男
下隈祐司
秦亮太朗
中島眞一
中野マーク周作
中野道人
名古光男
原野彰子
HARIKO
藤田望人
松井瑛美
森口美幸

Ⅰ イロとカタチ ココロオドル

鮮やかな色づかいや個性的な形。綿密な線の集合体。オリジナリティ溢れるさまざまな作品を集めました。

©Nakano Mark Shusaku

Ⅱ マイウェイ 私がみる景色

お気に入りの道路や路線を地図にする人、日常で見つけた美しい一瞬を絵に残す人。大分の景色や日々の風景を題材にした作品を紹介します。

©Nakashima Shinichi

Ⅲ 糸から始まる 表現

織りや縫いの手法で作品を作る個人や福祉事業所を紹介します。

©Atelier torimu

Ⅳ 関わりから 生まれたアート

支援活動をきっかけに生まれた作品のほか、周囲の人々や物事との関わりを書き留めた、「Junction」な表現を展示します。

EVENT イベント情報

参加料・観覧料　無料

会期中の主催イベント

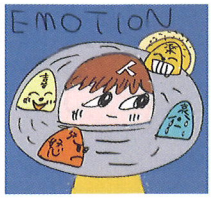
PICFA施設長 トークイベント「仕事を通して広がる世界と覚悟 ～アートだけでなく、人生も広がるように。～」

エネルギッシュな活動を牽引してきた原田施設長に、PICFAの活動をご紹介いただきます。

登壇　原田啓之（障害福祉サービス事業所PICFA施設長）
日時　11月9日（水）11:00～　50分程度
会場　展示室A内
定員　椅子席30名程度
申込　不要（椅子席先着順／15分前開場）

パフォーマンス発表「こころ、ころころ、ころがって。」

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画のパフォーマンスワークショップで集まった有志メンバーによる、オリジナル作品の公演です。



演出・脚本　市村啓二
ダンスサポート　真吉（まさきち）
日時　11月13日（日）13:00～13:30
会場　大分県立美術館　1階　アトリウム
申込　不要

ギャラリートーク

本展を鑑賞して巡りながら、支援センタースタッフや出展者が作品の見どころを紹介します。

日時　11月9日（水）、12日（土）、13日（日）、20日（日）14:00～　45分程度
11月19日（土）15:30～　45分程度
会場　展示室A内
定員　15名程度
申込　不要（先着順／5分前に会場入口集合）

会期中のおすすめイベント

会期中にOPAM館内で開催される、障がいとアートに関係するイベントをご紹介します。

第27回　ときめき作品展

日時　11月9日（水）～20日（日）10:00～18:00
会場　大分県立美術館　1階　アトリウム
主催　大分県障害者社会参加推進協議会
問合　097-558-8797（事務局）

きらめくわたしのファッションショー

会期　11月19日（土）13:00～15:00
会場　大分県立美術館　1階　アトリウム
主催　全国障がい者ファッション協会
問合　090-3735-0893（鶴丸）

コンサート「Alive」

会期　11月17日（木）、20日（日）
時間は要問合せ
会場　大分県立美術館　1階　アトリウム
主催　一般社団法人あらやしき
問合　090-4453-9307（古山）

大分県立美術館（大分県大分市寿町2番1号）

徒歩＝JR大分駅 府内中央口（北口）から徒歩15分
車＝大分ICから10分
国道10号線・別府市内から25分　駐車場あり（有料）

この展覧会は、大分県立美術館による新型コロナウイルスの感染予防及び拡散防止対策を講じたうえで実施いたします。感染拡大の状況によりイベントを中止する場合があります。

お問い合わせ
おおいた障がい者芸術文化支援センター［(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団］
〒870-0029 大分県大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 4階
TEL.097-533-4505（平日9:00～17:00）　FAX.097-533-4013
E-mail:artbrut-oita@emo.or.jp

おおいた障がい者芸術文化支援センター
@artbrut.oita
https://artbrut-oita.com